

2019.10 vol. 9

# Gno -info



P.02-03

**東京大学** 推薦入試  
学部学生の多様性を促し、活性化する

**京都大学** 特色入試  
社会までを意識した高大接続型選考

**東京工業大学** 推荐入試/AO入試  
“理系”の枠を超えるリーダーを育成

**一橋大学** 推荐入試  
高度な専門性を評価

P.04

**上智大学** 公募推薦入試  
鋭敏な問題意識と判断力を養成

## News Hotline

大学入学共通テストでは  
数学の記述式問題を見送り

TOEIC®が大学入学共通テストへの  
参加を辞退

グノーブルの個別指導 グノリンク

渋谷・四谷・巣鴨

 GnoLink 個別指導 グノリンク



※詳細はホームページまで

Topic

## 国立大学でも拡大する 推薦・AO入試 大学ごとのポイントを 読み解く

**昨日** 今、各大学が力を入れ始めた推薦入試・AO入試。これまで私は私立大学のほうがより積極的に推薦・AO入試を拡げてきたことは前号(Gno-info vol.8)でもお伝えした通りです。一方、国立大学においても、15年に国立大学協会が「推薦入試、AO入試などの割合を21年度までに入学定員の30%に引き上げる」方針を打ち出したことで、大学ごとの教育理念に基づいた様々な特徴ある入試が採用されました。

中でも話題となったのは、16年度にスタートした東京大学の推薦入試です。それまで一貫して学力試験に徹していた東大が、初めて推薦入試を実施し、理Ⅲにおいては面接を再導入したこと大きな注目を集めました。まだ全体に占める推薦合格者の割合は少ないものの、導入から間もなく5年を迎えるにあたり、これまでの入試を総括してさらなる改善・拡大を目指す予定としています。

他にも同じく16年度に「特色入試」と銘打った推薦入試・AO入試をスタートさせた京都大学のほか、17年度には大阪大学が、18年度には東京医科歯科大学や一橋大学が推薦入試・AO入試を導入しました。名古屋大学や東北大学のように、推薦・AOの定員比率を30%以上に引き上げる計画を打ち出した大学もあり、各大学で入試改革の検討が進んでいます。

## 推薦・AO入試生にかかる“多様性”への期待

一般的に推薦入試やAO入試の対策と言うと、小論文や面接の対策が思い浮かばれるのではないかでしょうか。しかし、特に国立大学や難関私立大学の推薦・AO入試の実態を見ると、専門性への深い興味と理解、それに基づく問題意識と論理的な思考力や表現力、さらには特定分野だけではなく幅広い教科における水準以上の学力も求められます。試験のテクニック以上に、ベースとなる学力や意欲の高さをより深く審査し選考しており、決して“飛び抜けた能力や経験”で易々と入学できるわけではありません。

しかし、だからこそ各校の推薦・AO入試を突破して入学した学生への期待値は高まり、一般入試では測りきれない主体性や発想力、個性を發揮して、優秀な学生が集まる各校において“多様性を推進する起爆剤”としての役割が期待されています。かつて一部の優秀な学生や、特徴ある学生だけが利用していた推薦・AO入試の立ち位置が大きく変わり、受験生個々の特性と大学・学部の特徴をより適正にマッチングするための場として多くの学生に門戸は開かれつつあり、今後もこの流れは加速することが予測されています。

そこで今回のGno-infoでは、前号で早稲田大学・慶應大学の推薦・AO入試を特集したのに続き、推薦・AO入試特集の第2弾として国公立大学の取り組みを中心にお伝えします。



## 東京大学

## 推薦入試

## 学部学生の多様性を促し、活性化する

## 入学時点で学部の選択が可能

16年度からスタートした東京大学の推薦入試。それまでは学力試験が絶対条件であった同大の新たな取り組みとして、導入以来大きな注目を集めてきました。ただしスマスマではしばしばその難易度や合格者の個性、特異な能力や経験などに注目が集まりがちですが、受験生が注目すべきポイントは、推薦

入試制度の特徴・仕組みについてです。東京大学の場合、推薦入試生は一般入試生と比べて明らかなアドバンテージを持って入学することができます。それは“入学時点で学部を選択できる”という点です。またそこにこそ東京大学が推薦入試を導入した本意があるようです。

東京大学といえばリベラルアーツ教育です。「レイト・スペシャリゼーション(Late Specialization)」と呼ばれる教育システムのもと、全学生が前期課程(教養学

部)で2年間は幅広い教養科目を学び、3年以降にそれぞれの希望をもとに学部・学科に進むことが通例です。

しかし、推薦入試生の場合は「早期専門教育」のコンセプトのもと、前期課程(教養学部)のときから、教養教育と並行して専門分野に触れる機会が提供されます。さらには、履修の前倒しや研究室への参加、アドバイザー教員による個別の助言・支援など、専門性を積極的に磨くための万全なサポート体制が用意されています。そのため推薦入試も、学部ごとに入学者を選抜する「学部入試」の方法をとっており、各学部が設定した要件・条件にかなうかどう

かが、合否の分かれ目となります。

## 卓越性・多様性・潜在性を総合評価

推薦入試の募集人数は学部ごとに設定されており、全学部合計で100人程度です。しかし例年合格者は100人に到達せず、むしろ徐々に減少傾向にあります。その理由について東京大学の広報課では、メディアで合格者の華麗な経歴が報じられて“卓越性”ばかりが注目され、受験生にとって高いハードルになっているためではないかと分析しています。

しかし、東京大学が推薦入試を実施する目的は、推薦入試生の卓越した能力と高い意欲によって学部学生の多様性を促進し、学部教育をさらに活性化することです。だからこそ、例えば医学部医学科では「自然科学の領域においてきわめて高い能力」といった“卓越性”だけではなく、「高い基礎学力とバランスのとれた人格」や「生命科学・医学研究への意欲と能力」も推薦要件に挙げている通り、“卓越性・多様性・潜在性”を総合的に見て選考しているのです。のために志願理由書や推薦の根拠資料だけではなく、面接やセンター試験(おおむね8割程度の得点が必要)の成績も含めて総合的に合否を判定しています。

地球規模の課題に対処するためには、多様な人々が知恵を出し合い行動を起こすことが不可欠です。そしてそれを主導する「知のプロフェッショナル」を輩出することこそが次代の東京大学の役割だと自認し、起爆剤としてとがった個性と学力・人格・意欲を併せ持った推薦入試生に対して、高い期待が寄せられているのです。

## 東京大学20年度 推薦入試概要

学部・学科	出願期間	合格発表	目的	求める学生像	審査内容	学部独自の提出資料	募集人数
法学部	11/1~6 20年 2/12	20年 2/12	学部学生の多様性を促進し、それによって学部教育の更なる活性化を図ること	リーダーシップ、社会問題への強い関心、対話を通じた課題設定・解決能力	書類(調査書、志願理由書、推薦書など) 面接 センター試験など	論文、社会貢献活動への表彰実績、留学経験や国外交流活動の証明資料、外国語の語学力を証明する資料など	10名程度
経済学部				いずれかの分野の卓越した能力と、新しいビジネスや社会の枠組みを創造する意欲		全国レベルのコンテスト入賞記録、外国語の語学力を証明する資料、国際活動が評価された文書など	10名程度
文学部				人間の精神的な営みと歴史や現代の諸問題に関する探究心に富んだ学生		論文(「総合的な学習の時間」や自主研究で学び、文部科学省でさらに追及したいと考えていることについて)	10名程度
教育学部				自ら設定した課題を探求する資質・能力、および志望理由が明確な学生		在学中に作成した論文・作品、全国レベルでのコンクール入賞記録など	5名程度
教養学部				複数の学問を横断して学ぶ関心・意欲と、社会問題の解決を目指す志		論文、各種コンテストの実績、外国語能力の証明書、その他特筆するべき活動の実績など	5名程度
工学部				理系の秀でた能力、または柔軟な発想力と課題設定能力、またはグローバルな問題発見・解決能力		「求める学生像」を客観的に示す説明書、または本人の能力をよく知る人物による推薦書	30名程度
理学部				自然科学において卓越した能力を有する学生		国際レベルのコンテスト受賞歴、商品レベルのソフトウェア開発経験、科学雑誌への論文発表など	10名程度
農学部				主体的に学ぶ姿勢と、生物資源・生態系に関わる諸問題をグローバルに解決する意欲		高い基礎学力、および農学分野での推奨事由を有することを証明する書類(論文、活動実績など)	10名程度
薬学部				薬学研究を国際的に牽引する、または薬剤師として医療高度化を推進する意思のある学生		論文、国際的なコンテストでの実績、社会貢献活動の実績など	5名程度
医学部 医学科				未知の生命現象の発見や医療の革新につながる研究を長期的に取り組む意欲と、バランスのとれた人格		国際的なコンテストで活躍した実績と、きわめて高い英語力を証明する書類	3名程度
医学部 健康総合 科学科				科学的・分析的思考能力と統合力、発信力を持つ学生。また、バランスのとれた人格と健康分野の探究心		課外活動での実績やリーダー的役割の経験を証明する資料、きわめて高い英語力を証明する資料など	2名程度

## 京都大学

## 特色入試

## Kyoto University

## 社会までを意識した高大接続型選考

## 「学びの設計書」で志を評価

京都大学の「特色入試」は、東京大学の推薦入試と同じく16年度からスタートしました。基本方針は“高大接続と個々の学部の教育を受ける基礎学力を重視”することです。そのため①高等学校での学修における行動と成果の判定と、②個別の学部におけるカリキュラムや教育コースへの適合力の判定を併せて、個々の学ぶ力と志を評価して選抜します。

①を判定するために「調査書」や「学業活動報告書」「推薦書」などによって高校時代の活動歴や人格を審査する点は他大学と同様ですが、最大の特徴は「学びの設計書」です。高校時代の学修や活動を通して何に気づき、京都大学で何を学びたいのか、また卒業後にはどのような仕事に就いていかに社会に貢献していくのかという、入学から卒業後までの人生設計図を「学びの設計書」として作成し提出することを義務付けています。学ぶ意欲や志を特色入試の準備を通じてさらに固めてもらい、書類審査を通じて評価します。

さらに②の個別学部への適合力を判定するために各学部ともセンター試験の成績提出を課しているほか、書類審査や

学部ごとに能力測定考查、口頭試問、面接などを設けています。推薦入試・AO入試といえども意欲だけで通る試験ではなく、学部・学科が求める高い学問レベルを基準として設定することで、意欲と

能力が共にふさわしい人材を選びすぐっているのです。

「特色入試」は、当初は一部学部だけの取り組みでしたが、現在では全学部で実施されており、合格者数も徐々に増えています。京都大学が教育理念として掲げる「自学自習」の精神(自ら学び、自ら幅広く課題を探求し、自由な発想で主体的に解決への道を切り拓く)を体現する学生をより効果的に募るべく、特色入試の取り組みを拡げています。

## 京都大学 20年度 特色入試概要

学部・学科	出願期間	合格発表	目的	求める学生像	審査内容	募集人数
総合人間学部	11/1~8	20年2/12	高校教育から大学教育への接続を図り、社会の各界で積極的に活動できる人材や世界を牽引するグローバルリーダーを育成すること	新たな「人間の学」の創出をめざし、「総合」「文理融合」の意義を理解し、積極的に進めようとする学生	書類、能力測定考查(文系総合問題・理系総合問題)、センター試験	5名
文学部	11/1~8	20年2/12		基礎学力を備え、文学部で学ぶためのプランと意欲がある学生	書類、論文試験、「学びの設計書」に関する論述試験、センター試験	10名
教育学部	10/1~7	20年2/12		探究的・創造的な活動の経験、教育や心理への関心、問題解決能力、コミュニケーション能力がある学生	書類、課題、口頭試問、センター試験	6名
法学部	1/27~2/5	20年3/24		コミュニケーション能力と知的探究心、倫理性・責任感を有し、自学自習の姿勢を持っている学生	書類、小論文、センター試験	20名
経済学部	11/1~8	20年2/12		総合的な学力、長文読解力、問題発見力、倫理的思考、柔軟な発想力、自学自習の能力などを有する学生	書類、論文試験、センター試験	25名
理学部	10/1~7	20年2/12		自ら考え、新しい知を吸収し創造する姿勢、および論理的思考能力と語学力を有する学生	書類、数学に関する能力測定考查、口頭試問、センター試験	5名
医学部 医学科	11/1~8	20年1/20		医学・生命科学への深い関心と真摯な姿勢、熱意を持って真理を探求できる学生	書類、語学力を証明する資料、小論文試験、面接	5名
医学部 人間健康科学科	10/1~7	20年2/12		多面的かつバランスの良い思考力で問題を解決していく、医療のエキスパートとなり得る学生	書類、論文試験、面接、センター試験	30名
薬学部	11/1~8	20年2/12		(学科ごとに異なるためここでは省略)	書類、論文試験、面接、センター試験	2学科で6名
工学部	11/1~8	20年2/12		(学科ごとに異なるためここでは省略)	書類、口頭試問、センター試験など	6学科で27名
農学部	11/1~8	20年2/12		(学科ごとに異なるためここでは省略)	書類、口頭試問、小論文試験、面接、センター試験など	6学科で19名

## 東京工業大学

## 推薦/AO入試

## “理系”の枠を超えるリーダーを育成

## 基礎学力+主体性を評価

国公立理系の人気校、東京工業大学では、理学院・情報理工学院・工学院・生命理工学院・物質理工学院・環境・社会理工学院の6学院のうち、理学院では推薦入試を、その他の5学院ではAO入試を実施しています。

理学院の推薦入試は、高校時代に課題研究や課外活動、理系の国際オリンピックなどで著しい成果を上げた学生が学校長の推薦を得て応募することができ、数学系・物理学系・化学系・地球惑星科学系の4つの系で合計8人を募集しています。ただし「成果」とは研究内容の優劣だけではなく、研究・活動における自身の役割やグループ内での振る舞いも評価の対象に含まれます。

加えて、センター試験の成績提出が必須となっている上、理系科目だけではなく「国語」と「地理歴史・公民」、「外国語」も含めた全教科の受験が義務付けられている点も特徴的です。たとえ理系科目が飛び抜けて秀でていたとしても、それだけでは合格は難しいのです。理工系の

専門的な知見と好奇心や主体性、表現力、さらにはそれらの基盤となる幅広い学問の修得という高いハードルが課せられています。

## 「誰も見たことのない未来をつくりだせ」

推薦入試における審査ポイントは、同大学および理工学院のアドミッション・ポリシーからも読み解くことができます。

理工学院が学生たちに求めるのは、「幅広い教養と自由な発想に基づいた研究を通じて、社会や文化の発展に広く貢献する」ことです。そのための基礎的な素養として、①強い好奇心、②自ら学ぶ主体性、③意見を伝えるコミュニケーション力、④十分な学力と表現力の4つを挙げています。つまりは、通常の入学試験では深く測りきれないこれら4つの力を既に高いレベルで発揮している学生を選抜するための場が推薦入試な

のです。

「誰も見たことのない未来をつくりだせ」。入学希望者へのメッセージからは、“理系”的枠を超えて自由な発想と幅広い教養で時代を切り拓き、世界をリードして欲しいという熱い思いが伝わってきます。その目標に向かうための牽引役として、推薦入試生には、一般入試生にはない違いや刺激を供与することが期待されています。

それは他の学院のAO入試においても同様です。求める学生像はそれぞれ異なりますが、柔軟な発想力や高い学習意欲、自主性や表現力といった、一般入試では測りきれない能力を有した学生を求めている点は共通しており、AO入試生への高い期待が伺えます。

## 東京工業大学 20年度 推薦/AO入試概要

学部・学科	出願期間	合格発表	目的	求める学生像	審査内容	募集人数
理学院	12/17~19	20年 2/12	高い志と多角的な視点を持ち、“理系”的枠を超えて現代の問題を解決する人材を輩出すること。	自然界の仕組みに対する強い好奇心、主体性、他者と議論できる力、十分な学力と表現力などを持つ学生	書類(推薦書と課外活動・コンテスト実績等を証明する資料)、センター試験	8名
工学院				工学系分野への強い興味と社会の持続的な発展に貢献する志を有し、十分な基礎学力と柔軟な発想力がある学生	センター試験、筆記試験、面接	34名
物質理工学院				材料学や応用化学に対する基礎学力と論理的思考力、柔軟な発想力や意欲を有した学生	センター試験、筆記試験、面接	18名
情報理工学院				数学や理科に関する基礎学力と興味を持ち、情報化社会の発展に貢献する意欲と自主性のある学生	書類、活動実績報告書、センター試験、面接	6名程度
生命理工学院				生物に特に秀でた素質を有し、生命現象を探求する意欲とチャレンジ精神をもった学生	書類、センター試験、筆記試験、面接	10名
環境・社会理工学院				柔軟な発想力と高い表現力を有し、生活・産業基盤の観点から社会の発展に貢献する意欲のある学生	センター試験、筆記試験、面接、造形課題など	17名

\*理学院は推薦入試、その他はAO入試。



## 一橋大学

## 推薦入試

## Hitotsubashi University

## 高度な専門性を評価

## 出願条件で英検®1級、簿記1級など高い基準を設定

一橋大学では、旧来商学部だけで実施されていた推薦入試を、18年度入試から全4学部で導入。同時に法学部と社会学部で後期日程試験を廃止しました。推薦入試導入の目的は「グローバル社会において独自性をもって活躍できる人材の育成を促進する」ためです。“一定の基礎学力”を備えつつも、“特定領域で高度な知識的訓練を積み重ね、その才能を発揮してきた多様な背景をもつ学生に対し、多面

的・総合的に評価するために、一般入試の規模を縮小して推薦入試制度を設けました。そのため、出願資格の時点で英検®1級をはじめとした各種外国語検定試験の成績、または数学オリンピックや簿記1級といった高い基準の成果・資格が求められます。さらに1次審査ではセンター試験(5教科)の得点によって選抜されるように、推薦試験といえども高い学業実績が求められる点が特徴です。

2次審査では推薦書や調査所、小論文や面接などによって入学希望者の能力や学習意欲を判定し、各学部で10~

15名の合格者が選抜されます。面接や小論文においても、例えば「なぜ日本経済は伸び悩んでいると思うか」「21世紀の経済学はどうあるべきか」といった個々の思考力や表現力を問う内容になっています。

1次審査・2次審査を通じて、基礎的な学力を高いレベルで持っていることに加えて、志望分野に対する理解と興味、問題意識、さらには思考力や表現力などを求められる非常にハイレベルな推薦試験により、グローバル人材としての素養を備えた学生を選抜します。



## 吉田先生の見解・アドバイス

入試制度が複雑化する今、高1~2のうちに、受験計画や勉強スケジュールを検討するのがオススメです。後で変わっても構いませんし、大雑把でいいのです。

私自身(文系、一般入試専願)も、受験科目や配点、出題傾向を高2の夏の段階で確認し、「まずは英数国」「高2の秋から社会1科目め、高3の春から社会2科目め。センター試験のみの理科は高3の12月から間に合わせる」と決断したことで、日々の勉強に無駄や迷いがなくなりました。

部活・行事との両立のためにも、優先順位をつける習慣を。特に推薦・AO系の入試を検討している人は、早い内から各種コンテスト等がありますし、一般入試との勉強のバランスを考える必要があるでしょう。

(大学受験グーブル:国語科担当)



上智大学

公募推薦入試

Sophia University

## 鋭敏な問題意識と判断力を養成

### 高い出願条件で、優秀な学生に広く門戸を開放

創立以来グローバル教育を推し進めてきた上智大学では、より各学部・学科が求める優秀かつ個性的な人材に門戸を開くべく「公募推薦入試」を実施しています。「公募推薦」とは指定校推薦とは異なり推薦を受けられる高校が特定されているわけではないため誰もが受験可能です。

19年度の公募推薦入試の結果を見ると、倍率はほとんどの学部・学科で1.5倍～2.5倍ほどとあまり高くありませんが、これは出願条件の難易度が高いためとも推測できます。出願条件は、①上智大学を第一志望とし、出願学科への入学を確約できる者、②各学科の指定する科目を履修した者、③各学科の指定する評定平均値を在学期間を通じて満たす者、④各学科の指定する外国語検定試験のいずれかの基準を満たす者、の4条件が指定されています。

特に③はほぼ全学部・学科で高校の全体評定平均値4.0以上が求められているほか、外国語学部では英語や外国語の評定平均値4.3以上が必要になります。また④の外国語検定試験のスコアも学部・学科によって異なりますが、

おおむね英検®2級以上、TOEFL iBT®テストなら42以上が必要で、外国语学部英語学科の場合は英検®準1級以上、TOEFL iBT®テストなら72以上と高い基準が設定されています。つまり誰にでも広く開かれている門戸ではなく、優秀な学生には学校の指定なく門戸を開いている推薦制度というわけです。

### レポート、個別試験、面接で学科適性を審査

選考はまず「高等学校調査書」や「自己推薦書」、および学部ごとに設定された「レポート等特定課題」の書類で1次

審査されます。2次審査では「学科ごとの個別テスト」と「面接」によって総合的に判断し、合否判定が行われます。

「レポート等特定課題」はそれぞれの学部の専門分野への理解と学習意欲、思考力や表現力を問うテーマに設定されています。例えば総合グローバル学部の20年度公募推薦入試では「現在関心を持ち、大学でさらに学びたいと考えているグローバル・イシュー（地球規模課題）を1つ取り上げ、それがどのような問題なのか説明した上で、その理解と解決のためにグローバルな視点とローカルな視点がどのように重要であるかを、具体例を挙げながら述べなさい」という

テーマで2,000字のレポートが課されています。世の中で起きている事実を知識として知っているだけではなく、その問題点や解決策を立場による意見の違いにまで思考を巡らせて論理的に伝えることが求められています。

また2次審査の「学科ごとの個別テスト」でも同様に学部ごとの専門分野に関する理解や思考を測る小論文を課す学部が多く、「面接」も含めて本気度と日頃からの問題意識、それらを伝える思考力や表現力が審査されます。

上智大学が入試の段階から実践的な思考力を求めるのには、同校がキリスト教精神を基底に共同社会の構成として各々が人格の尊厳と基本的人権を認め合うことを教育理念としているためです。そのため学生に対しても学問を研究するだけにとどまらず、現代社会に対して鋭敏な問題意識と判断力を養成し、社会の建設に貢献する力を身につけることを求めています。

上智大学 20年度 公募推薦入試概要 一部学部のみ抜粋

学部・学科	出願期間	合格発表	目的	外国语検定試験の出願要件 (英検®の場合)	審査内容	学科ごとの個別テスト内容(一部学科抜粋)	募集人数
神学部	10/8~ 11/5	12/13	上智大学への入学を第一志望とし、入学を確約できる者で、各学部・学科が求める優秀かつ個性的な人材に対して広く門戸を開き、入学者の多様化を図ること	指定なし	・調査書 ・自己推薦書 ・レポート等特定課題 ・学科ごとの個別テスト ・面接など	神学科:キリスト教・外国语の理解を問うテスト、小論文	8名
文学部				英文学科:準1級 他学科:2級		哲学科:哲学への関心および思考力・表現力を問う試 英文学科:英語適性検査(読解力・思考力・表現力を問う)	7学科で 89名
総合人間科学部				全学科:2級		教育学科:教育に関する小論文 心理学科:課題文に関する論述試験 社会学科:文章理解、思考力、表現力についての試験	5学科で 69名
法学部				国際関係法学科:準1級 他学科:2級		法律学科:社会と法に関する設問を含む小論文 国際関係法学科:国際関係に関する小論文	3学科で 53名
経済学部				経済学科:2級 経営学科:2級A		経済学科:数学に関する理解力、思考力を問う試験 経営学科:産業社会に関する理解力と思考力を問う試験	2学科で 51名
外国语学部				英語学科:準1級 他学科:2級/2級A		英語学科:英語の諸技術適正検査 ドイツ語学科:設問を含む小論文 ロシア語学科:ロシア・ソ連についての設問・小論文	6学科で 131名

※「外国语検定試験の出願要件」では、英検®以外にもTOEFL iBT®, TOEIC®, TEAP®なども採用されているほか、学科によっては独検、仮検での出願も可能。

## News Hotline

### 大学入学共通テストでは数学の記述式問題を見送り

大学入試センター試験に代わって20年度から導入される「大学入学共通テスト」において、予定されていた数学の記述式の問題の導入を初年度は見送り、数式のみを記述させる方針になりました。

従来、大学入試センターが検討していた記述式問題は、「数学I」「数学I・A」のうち小問3問において、短い文章で解答

までの思考の流れや数式を記述させるというものでした。しかし昨年11月の2回目の試行調査において、数式だけを書かせた2問の正答率がそれぞれ5.8%と10.8%、短文による説明も書かせた1問については正答率3.8%と低迷していました。記述式問題は採点者によって結果に不公平が生じる可能性があることなどが懸念されていたことから検討を重ね、3問全てで数式だけを書かせる方針へと変更されました。

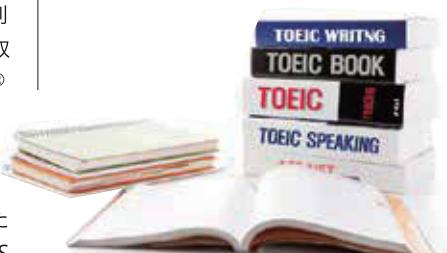
また、既に5月に発表されている通り「数学I・A」では10分間、「国語」では20分間、現行のセンター試験よりも試験時間が延長されることも決まっており、内容・時間などを含めて難易度が上がり過ぎないように最終的調整が進められています。

### Editor's Memo

推薦入試・AO入試というと面接や小論文対策が注目されがちですが、近年の入試実態を見ると試験を突破するためのテクニックではなく、根底にあるべき知識（基礎学力／専門性）と、そこから導かれた個々人の勉学に対するモチベーションや目標意識がつぶさに見られていると感じます。高大接続改革の流れと同様に、考える力や自主性、表現力が問われる時代になってきています。

＆W」ではもともとコンピューターを使った試験で台数に限りがあるため、希望通りの日程で全学生に受験させられる保証がないといった様々な要因が重なってきたためです。

TOEIC®での受験を想定していた学生には、自身の受験方針の変更が迫られることになります。実施まで1年を切ったタイミングでの急な変更ですが、様々な機関が絡んだ大きな改革だけに、今後も何かしらの方針変更が全くないとは言い切れません。引き続き今後の動向に注意が必要でしょう。



### TOEIC®が大学入学共通テストへの参加を辞退

英語検定試験「TOEIC®」を運営する国際ビジネスコミュニケーション協会は、共通テストへのTOEIC®の参加申し込みを取り下げたことを発表しました。

共通テストの英語では、これまでセンター試験で「読む・聞く」の2技能だけを測定していたものを、「話す・書く」も含めた4技能を評価するスタイルに変更され、そのための試験として民間の検定試験（認定された7機関8試験のみ対象）を用いることが決定していました。

しかし今回、TOEIC®では「受験申し込みから実施運営、結果の提供までの処理が想定していたより複雑で、責任をもって対応を進めることが困難だと判断した」ために共通テストへの参加を取り下げました。当初想定した「TOEIC® L&R」で「聞く・読む」を、「同 S&W」で「話す・書く」を測り、2つの試験結果を足して提出するというスタイルが、AO入試や推薦入試にも合わせるために時期の変更を迫られたこと、また「S